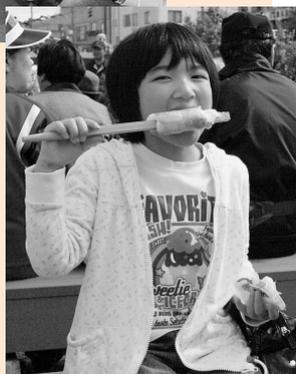




▲まだ焼けないかな

▼きれいに早くむかなくちゃ!



▲とっってもおいし〜い

本場きりたんぽに舌鼓 (10月11・12日)

本場大館きりたんぽまつりが長木川市民広場で開かれ、たくさんの市民や観光客がおいしいきりたんぽに舌鼓を打ちました。

恒例の「たんぽ千本焼き」には、家族連れなど大勢の来場者がきりたんぽ作りに挑戦。ご飯を串に付け、炭火でこんがりときつね色に焼き上がったたんぽに味噌を塗り、おいしそうにほお張る姿が見られました。

特設ステージでは、今回初めて「たまごから卵殻早むき競争」が行われました。飛び入り参加した小学生たちが一生懸命に殻をむく姿に「ガンバレ！」と声援が飛び交い、多くの来場者を楽しませました。



それ! 捕まえる〜

五色湖まつりが山瀬ダム多目的運動広場で開かれ、たくさんの家族連れなどでにぎわいました。小雨交じりの肌寒い天気でしたが、会場では子どもたちがミニSに乗ったり、ニジマスつかみ取りに挑戦したりと、笑顔いっぱい楽しんでいました。アユの塩焼きなどの出店も並び、来場者は周辺の色付き始めた山々を眺めながら、秋の味覚と五色湖の自然に満足の様子でした。

五色湖の自然を満喫 (10月11日)



花をささげ思い新たに

大館生まれの秋田犬・忠犬八子公の生誕祭が、JR大館駅前八子公広場で行われました。八子公は、今から86年前の正12年11月に大子内で生まれ、間もなく東京・渋谷の上野博士のもとに送られました。生誕祭には、向陽幼稚園の園児ら約130人が出席。花をささげ、園児のケーキカットで86回目の誕生日を祝いました。最後に有浦小学校4年の児童が歌「忠犬八子公を合唱し、八子公への思いを新たにしてみました。

忠犬八子公生誕祭 (10月11日)



「ガンバレ!」の声援を受け力走

選手たちは、コース沿いで声援を送る家族や友人の声援を受けて力走し、タスキをつないでゴールを目指しました。これまで参加が無かった一般女子の部には、今回4チームが参加し、三浦商店駅伝部肉食系女子組が優勝。また、37チームが出場した小学校の部は、有浦小学校Aチームが終始トップを守り切り、2連覇を果たしました。

市民駅伝競走大会 (10月12日)

第26回大館市民駅伝競走大会が樹海ドーム周辺で行われ、小学生から一般まで61チームが健脚を競い合いました。

商店街に活気「八子公市民音祭」 (10月11日)

八子公音祭in八子公元氣市がおおまち八子公通りで開かれ、繰り広げられる多彩なジャンルの演奏とたくさんの来場者でにぎわいました。

イベントは、大町商店街振興組合と大館青年会議所が、音楽を楽しみ街を元気にしようとして初めて企画されたもの。一部を歩行者天国とした通りでは、地元ミュージシャンなどの演奏や、市内外から集まったよさこいチームの躍動感あふれる踊りが披露されました。訪れた観客からは、演奏や演舞が終わるたびに大きな拍手が上がっていました。



躍動感あふれる踊りに会場は盛り上がりました